

建設部長目標（令和8年度組織目標）

● 建設部長 工藤 順一（くどう じゅんいち）



● 業務をもって貢献しているSDGsの主なゴール

- 11 住み続けられるまちづくりを
- 13 気候変動に具体的な対策を
- 15 陸の豊かさを守ろう



● 建設部の仕事

建設部は、建設総務課、道路建設課、道路維持課、公園課、管線課及び河川課の6課で構成され、道路照明灯の維持管理、生活道路の整備、道路の改良、都市計画道路の整備、道路・橋りょうの維持補修、公園の新設・管理、公共建築物の設計・施工管理及び河川・水路の改修整備などが主な仕事です。

● 建設部の目標

建設部では、災害・事故から市民の安全を守り、安心で快適に住み続けたいまちとする基盤整備を担っています。交通対策として都市計画道路の整備や交差点改良、防災・減災として台風やゲリラ豪雨に対する総合的な治水対策、環境整備として身近な緑や自然環境を保全し、公園・緑地の整備など進めます。

● 目標達成に向けた重点事業

No.	事業項目	事業の概要	事業の目標	事業の達成実績
1	幹線道路の整備促進	本市の交通渋滞緩和を図るため、中心市街地及び本市の外環状を担う幹線道路の整備を進めるものです。	本市の外環状道路である都市計画道路北野下富線の早期開通に向け、事業用地の購入を進めるとともに、西武新宿線をオーバーパスする道路の工事を進めます。また、都市計画道路所沢駅ふれあい通り線の鉄道との立体交差点より東側（市道1-525号線からくすのき台交差点まで）区間について、事業用地の購入を進めます。	
2	生活道路の整備推進	交通の円滑化、歩行者の安全性を確保するため、道路の新設や拡幅、交差点の改良などを進めるものです。	交通の利便性の向上等を図る市道4-1386号線（上藤沢・林・宮寺間新設道路3工区）について、延長60mの工事を進めます。また、県道所沢青梅線狭山湖入口交差点について、交通の円滑化を図るため、事業用地の購入を進めるとともに、令和7年度に用地購入した箇所を工事を進めます。	
3	道路環境の維持	老朽化が進む道路施設について、利用者が安全に安心して利用できるように計画的な維持管理を進めるものです。	道路照明灯の倒壊・落下等を未然に防止し、安全な道路環境を確保するため、市が管理する自立柱照明灯750灯を点検します。また、「所沢市橋梁長寿命化修繕計画」及び「所沢市横断歩道橋長寿命化修繕計画」に基づき、歩道橋1橋、橋梁2橋の長寿命化工事を進めます。加えて、道路の安全性、施設の適正管理を図るため、道路の法面や擁壁の維持管理計画を策定します。	
4	北秋津・上安松地区都市緑地保全事業	「所沢市みどりの基本計画」において、北秋津周辺保全配慮地区に位置付けられているまとまりのある貴重なみどりを保全するものです。	北秋津周辺保全配慮地区内の緑地の購入を進めます。	